

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和5年4月17日現在江戸川区立上小岩第二小学校

令和8年度までの目標	国語		算数	
	自校 AB 層の割合	45%	自校 AB 層の割合	45%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で探究的な学習を取り入れた授業改善を行い、児童自ら学びを進めていけるようにする。 教科担任制を行うことで、各教員の教科指導の充実を図るとともに、週一回の学年会において児童の実態や指導方法の共有を図るようにする。 OJT 夕会を設定し、主幹教諭を中心とした若手教員の育成を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを年3回実施する。 東京ベーシックドリルの結果から、児童の課題を把握し、週一回のドリルタイムや家庭学習でミライシードのドリルパークを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「上二小学習のきまり」についての共通理解を、教師だけでなく児童とも共有を図る。 一人1台端末の効果的な活用を行うとともに、「上二小タブレット使用のルール」を全校で行う。
特に支援が必要な児童への手立て	<ul style="list-style-type: none"> C、D層の学びにくさを改善するために、実物投影機等のICT機器を活用した、授業のユニバーサルデザイン化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童が放課後補習教室に参加できるような体制を整え、効果的な活用を行う。 放課後補習教室において、C、D層に応じた指導が行えるような体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じた家庭学習を行えるように個人面談や保護者会で情報提供を行い、家庭と連携を図る。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおいて「自ら進んで学ぶことができているか」肯定的な回答 85% 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者 85% 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおいて「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している」と回答している児童が75%以上